

みんなのライフスタイル応援会議 発案事業について

**2019年(令和元年)9月13日
みんなのライフスタイル応援会議**

1 新たな人口減少対策について

2018年(平成30年)8月

「新たな人口減少対策～強化策～」の策定

- 2040年の目標「多様なライフスタイルが実現できるまち」に向け、まずは現役世代を減らさない取組を進める。

2019年(平成31年)4月

「新たな人口減少対策アクションプラン2019」の策定

「みんなのライフスタイル応援会議」の設立

- 「新たな人口減少対策アクションプラン2019」に係る取組を企画・実行する組織として設立
- 自分たちが主体的に実施できる取組の検討

(参考)新たな人口減少対策アクションプラン2019

新たな人口減少対策では、データに基づき、進学・就職や結婚・出産など人生の転機ごとに**9つの人物像**を設定し、産業界や金融機関、大学、市民代表と連携して、まずは現役世代を減らさない取組を進めます。

ペルソナ

2040年の
目標

多様なライフスタイルが
実現できるまち

チャレンジへの選択肢がたくさんある

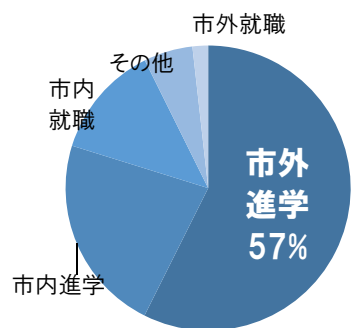
希望のライフスタイルへのサポート

多様性を尊重しあえる心

ライフステージごとの課題

進学時

高校生の進学/就職状況



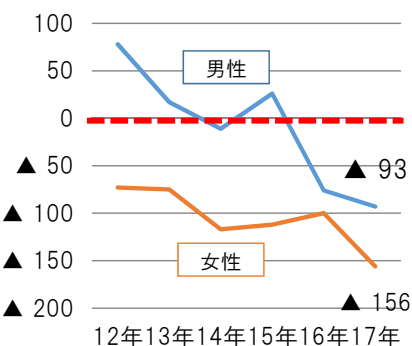
出所：広島県学校基本調査、高校生進学先調査(福山市)から作成

進学時の転出超過

- ・高校生の約6割が市外に進学(うち4割が大学)

就職期

(人) 20~24歳 転出入増減



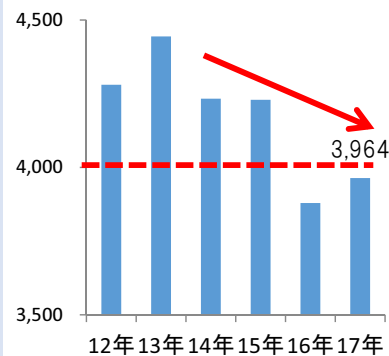
出所：住民基本台帳を基に作成

就職期における転出超過

- ・20代前半で転出が増加傾向、20代後半以降で外から呼び込む力が低下

結婚・出産

(人) 出生数



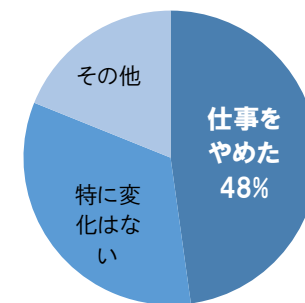
出所：厚生労働省「人口動態調査(確定数)」から作成

出生数の減少

- ・出生数が4,000人を下回る
- ・2012年以降、自然減が継続

子育て

結婚や出産後の仕事の変化



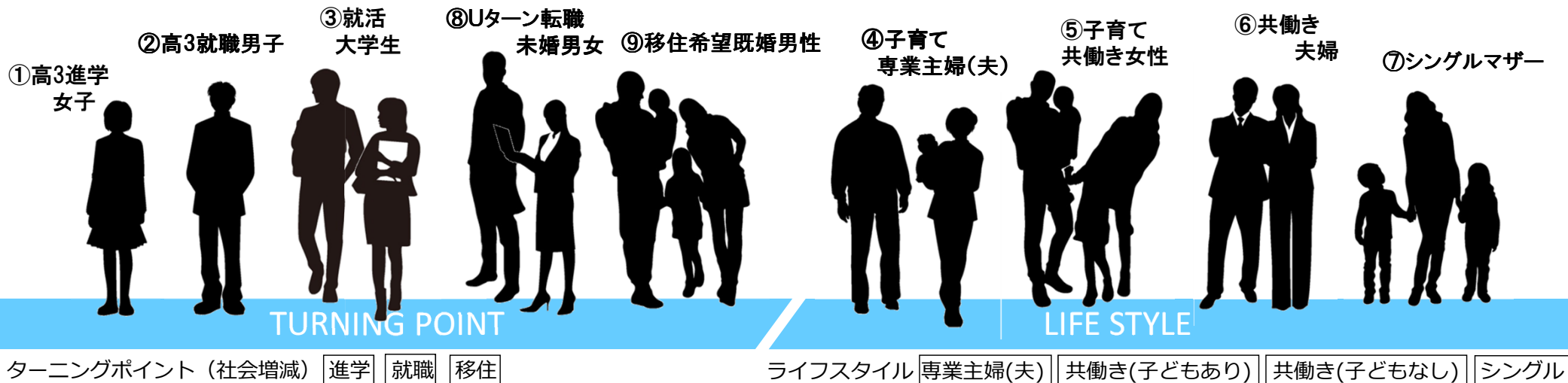
出所：「市政に対するニーズ把握のための定量調査(WEBアンケート)」から作成

子育てと仕事の両立に対する負担

- ・5割の女性が結婚や出産を機に退職

1 政策ターゲット(9つの人物像)の設定

人口減少対策を **3つのターニングポイント** と **4つのライフスタイル** で捉える



9つのペルソナを設定

2019年度に重点的に取り組むペルソナ

福山で暮らす“未来を描く”



① 高3進学女子

市内企業の認知度向上と郷土愛の醸成
市内の教育機能の向上
と定住促進



企業と学生が“出会う”



③ 就活大学生

市内企業とのマッチング強化



子どもの成長に“幸せ”を感じる



⑤ 子育て共働き女性

ニューボラを中心とした子育て支援の充実
子育てと仕事の両立推進

妊娠・出産・子育ての“不安解消”



⑥ 共働き夫婦

妊娠・出産・子育てへの
切れ目のない支援
妊娠と仕事の両立推進

2 目標実現のための強化策

ペルソナの満足度を高める分野ごとの強化策を構築

みんなの**働き方**が見つかるまち

【ワークプレイス改革】

- ・オープンコラボスペースの整備
- ・企業と学生のマッチング改革 など

【ワークスタイル変革】

- ・ワーケーション, プチ勤務 など

みんなの**安心**が見つかるまち

【心と体のリフレッシュ】

- ・子育てママのリフレッシュ (子育てバリエーション等の充実)
- ・男性の働き方改革No1都市 など

【ライフデザインの支援】

- ・ネウボラを核とした安心できる子育てライフ
- ・子育て期における経済支援 (子ども医療費助成) など

【安定した医療・福祉体制の確保】

- ・医療・介護・保育スタッフの確保 など

みんなの**誇り**が見つかるまち

【多様な学びの場と郷土愛の創出】

- ・遠隔教育・サテライト教育の強化 (福山で若者・社会人が望む教育が受けられる)
- ・学校教育での郷土愛の育成強化 など

【新しい価値を生む都市づくり】

- ・ホンモノの芸術文化や異文化に触れる機会の充実
- ・まるごと実験都市ふくやまの推進 など

— 施策効果を高める共通項 —

テクノロジー (AI, IoT等), 教育, 地域コミュニティー

3 推進体制の構築

産学金官民で役割分担,そして、チャレンジ!

アクションプランを
策定するため設置

人口減少対策検討部会

実行組織を
新たに設置

産

学

金

官

民

みんなのライフスタイル応援会議

アクションプランの策定(役割分担)

実行(集中的な取組)

実行の“輪”を拡大

2 みんなのライフスタイル応援会議での検討状況

● アンケート等の結果

ペルソナ①「高3進学女子」
ペルソナ③「就活大学生」

就職先地域の選択理由

- ・土地やまちに魅力を感じるから 39.7%
- ・就職したい企業があるから 34.3%

企業に求める条件

- ・雇用条件が良い(休暇が取得しやすい, 残業時間が少ない) 36.1%
- ・大都市との賃金条件に差がない 21.0%
- ・転勤がない 17.1%

将来住んでいる町に戻って来たくない理由

- ・就職したい業種や職種が地元にない 50.0%
- ・買い物したいお店が少ない 43.5%

ペルソナ⑤「子育て共働き夫婦」
ペルソナ⑥「共働き夫婦(子どもが欲しい)」

理想の子どもの人数をもつための条件

- ・出産や子育てへの配偶者やパートナーの協力 79.7%
- ・保育所など子どもを預けられる場所の充実 58.0%

子育てと仕事の両立のために企業に期待すること

- ・休暇がとりやすい職場環境づくり 79.2%
- ・労働時間の短縮やフレックスタイムの導入 52.8%

子育て休業を取得していない理由(父親)

- ・仕事が忙しかった 82.0%
- ・配偶者が無職など制度利用の必要なし 36.7%
- ・職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった 33.0%

● 優先的に議論するテーマの設定

ライフスタイル応援会議委員が主体的に実施でき, かつ効果が高い3つのテーマを優先的に議論。

- ① 働き方改革の推進
- ② 男性の育児参加
- ③ 地域の子ども・子育て支援の充実

● テーマの再構築

優先的に議論するテーマの中から, 働き方改革を先行的に進めることを決定。

● ワークショップ

働き方改革の目的を共有し, 具体的な取組について議論。

(主な意見)

- 働き方改革の優良事例のPRを行い, 興味がある企業が集まる仕組みを構築してはどうか。
- プラットフォームを構築し, 地域の課題を企業が知ることで, 企業と地域の取組をつなぐことができるのではないかと。
- 一部の企業が先導して取り組むことで, 全体のベースアップにつながるのではないかと。
- 企業が地域と連携して取組を実施した場合, 取組実績に応じて, 行政が企業を認定することで, 人材の確保につながるのではないかと。

3 みんなのライフスタイル実現プログラム

実施年度：2019年度(令和元年度)～2021年度(令和3年度)

(プログラム1) 企業力向上プロジェクト

実施主体：福山商工会議所青年部

ターゲット：ペルソナ①「高3進学女子」、ペルソナ③「就活大学生」

(プログラム2) 企業・地域がつながる空間づくり

実施主体：賛同企業・団体

ターゲット：ペルソナ①「高3進学女子」、ペルソナ③「就活大学生」

ペルソナ⑤「子育て共働き夫婦」

ペルソナ⑥「共働き夫婦(子どもが欲しい)」

(プログラム3) 子育てパパ活躍ウィーク

実施主体：賛同企業・団体

ターゲット：ペルソナ⑤「子育て共働き夫婦」

プログラム 1

企業力向上プロジェクト

取組の概要

1 目的

市内企業で働きたいと思う若者を増やし、企業の人材確保につなげる。

2 概要

福山商工会議所青年部が主体となり、青年部会員と有識者による研究会を開催し、成功事例をロールモデルとして発信する。

3 内容

(1)参加企業

福山商工会議所青年部の会員企業

(2)研究会の内容(イメージ)

事例研究, ディスカッション, 有識者による実践演習など

※詳細の内容については, 招聘する有識者との調整により決定。

(3)その他

- 5社の1グループとして, 複数グループ実施予定
- 2019年(令和元年)秋頃から実施予定

取組による効果(イメージ)

研究会の開催



- 働き方改革の推進や採用力強化等による強い組織づくりに向けた研究会の開催

ロールモデルの発信



- 研究会に参加した企業の中から、他社の参考となる企業を成功事例として発信

市内企業の企業力向上



- 商工会議所内でロールモデルの企業と他社を結びつけるなど、取組の“輪”を拡大

就職希望の若者増加 (企業の人材確保)

- 取組の“輪”の拡大による市内企業の魅力向上
- 市内企業に就職する若者の増加(企業の人材確保)

プログラム 2

企業・地域がつながる空間づくり

取組の概要

1 目的

企業や地域が有機的につながる空間を構築し、賛同の“輪”を拡大させる。

2 概要

企業・地域が共通のテーマを通じて出会い、つながることができる空間を構築し、新たな連携の構築・取組への発展を促進する。

3 内容

1 出会う

- 共通のテーマを通じて、企業・地域がウェブで出会う
(テーマ例)

企業・・・働き方改革, CSRの観点による地域との連携など

地域・・・子どもの遊び場づくり, 地域が抱える課題の解決手法など

2 つながる

- ミートアップに参加することにより、情報共有等ができる
- 新たな連携・取組が生まれる

3 取組の拡大

- 新たな連携や取組をウェブで発信することで、更なる出会い・つながりが生まれる

4 取組のメリット

- 普段は関係を持つことのできない企業や地域とも、共通のテーマをきっかけとして、出会うことができる。
- 企業や地域が抱える課題の解決に向けて、新たな連携によって、不足しているコンテンツ(人材・資金・情報発信力など)を補うことができる。
- ウェブにおいて、様々な情報(働き方改革の事例, 企業・地域の連携事例など)を発信することにより、若者や子育て女性に対して、「働きたくなる企業」、「住みたくなる地域」として認知される。

5 取組(例)

共通テーマ:働き方改革の一環として、テレワークを導入したい

テレワークを導入したい企業が集まったミートアップの開催

(他企業の協力例)

- ・従業員を派遣し、テレワークのメリットなどを共有(協力:株式会社サンエイ)
- ・テレワークを含めた働き方改革の普及の講演会(協力:株式会社オーザック)

プログラム 3

「子育てパパ活躍ウィーク」

取組の概要

1 目的

男性の子育てに関わる意識を醸成し、女性の子育て負担の軽減につなげる。

2 概要

企業・各種団体が「男性が子育てに参加できる取組」や「親子で参加できるイベント」を実施するとともに、企業が従業員への休暇取得・早めの退社を促すことで、男性の子育て参加を促進する。

3 実施期間

2019年(令和元年)11月3日(日)～11月9日(土)

※取組初日は「ふくやま子どもフェスティバル」と連動して実施。

4 取組の実施に向けて

(1)協力企業・団体の募集【9月下旬～10月上旬】

実施期間中に「男性の子育て参加を促す取組」、「親子で参加できるイベント」を企画・実施する企業や団体を募集する。

※市HPにおいて募集し、イベントを集約したチラシ等を作成予定

(2)参加企業の募集【9月下旬～11月上旬】

実施期間中に、従業員の休暇取得や早めの退社を促進する企業を募集する。

※市HPにおいて募集し、HPで参加企業として公表予定

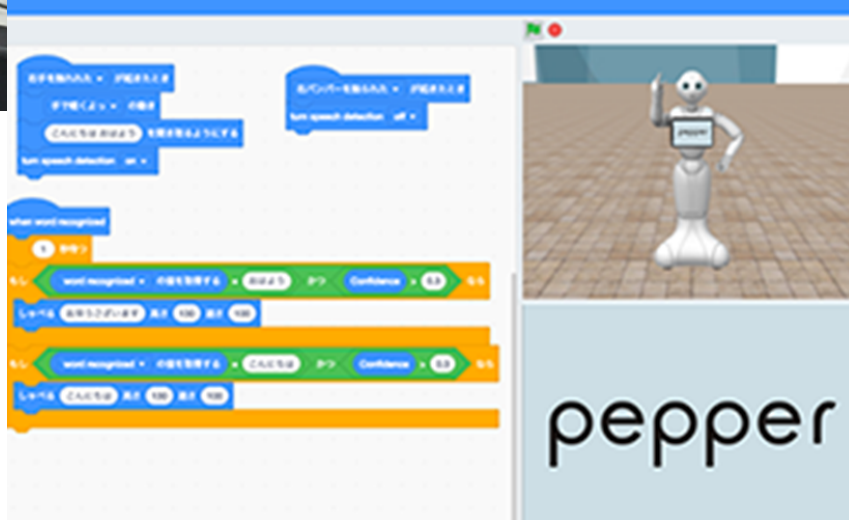
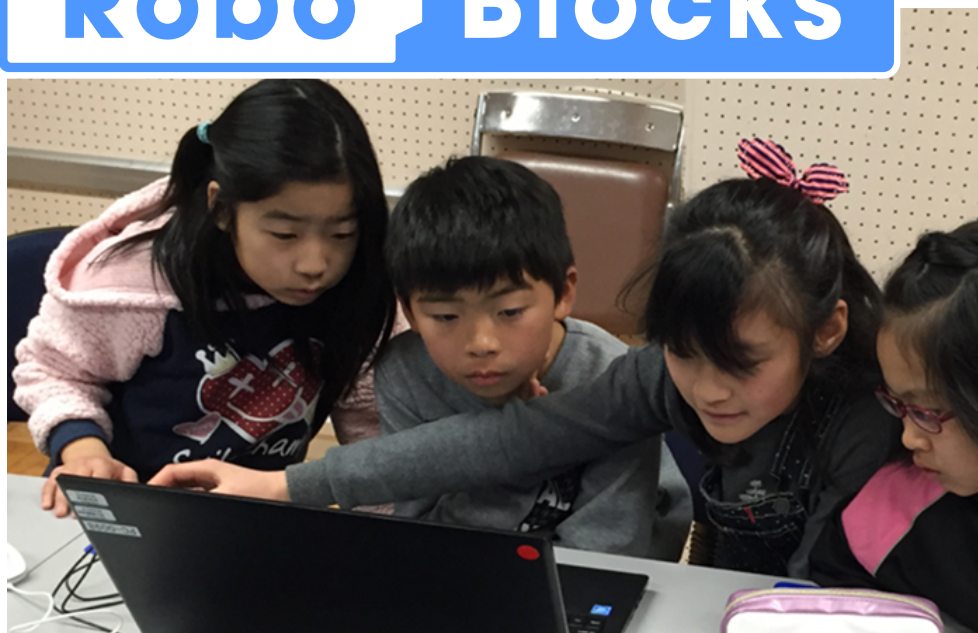
実施スケジュール(案)について

協力企業	内容	実施日	備考
ソフトバンク(株)地域CSR部	親子でPepperプログラミング体験 ➤ 「Pepper社会貢献プログラム」を活用	11月3日	ふくやま子どもフェスティバルで実施
中国宣伝企画(株)びんまる編集室	子育てママの本音ボード ➤ ママがパパに対して思っていることを記入・掲示	11月3日	ふくやま子どもフェスティバルで設置
(株)フレスタ	調理キット「クック・アイ」の販売	11月3日～9日	子育てママの本音ボードを活用
NPO法人ファザーリングジャパン×中国宣伝企画(株)びんまる編集室	子育てパパ座談会	11月4日	子育てママの本音ボードを活用
(株)フレスタ×(株)クラハシ	お魚ふれあいイベント	11月9日	フレスタ北吉津店で実施
子供の遊びと暮らしデザイン研究所	(子供の遊び場の提供)	【未定】	詳細は調整中
【未定】	魚のさばき方教室	【未定】	備後フィッシュとの連携

(株)エブリイやその他小売店などは現在調整中。

プログラミングツール

Robo Blocks

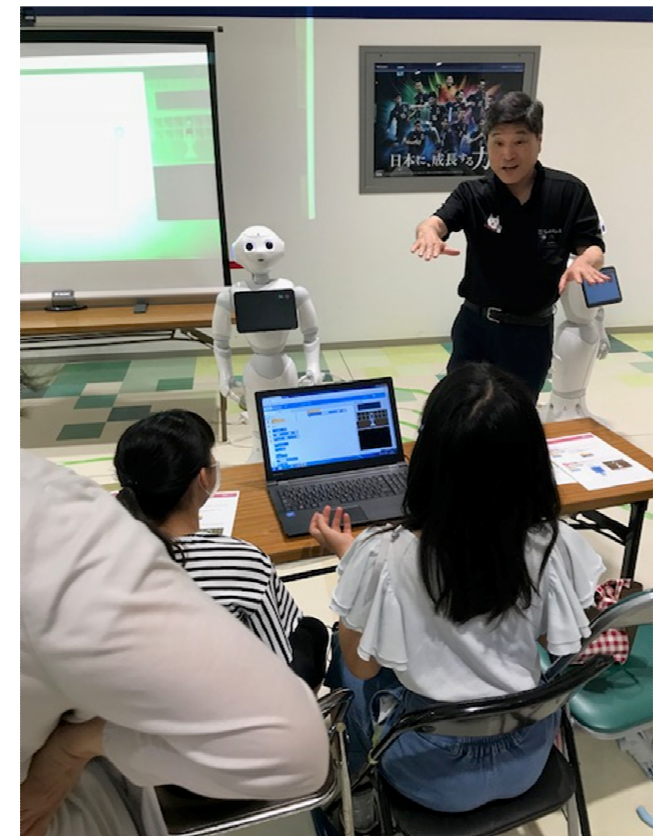


教育専用の プログラミングツール

我々が提供するプログラミングツールは
ブロックを組み合わせるだけの非常に
簡単なもので、プログラミング言語や
技術がなくても取り組むことができ、
文部科学省が目指す
プログラミング的思考（論理的思考力）
の習得に特化して授業を進行できます。

イベントイメージ1

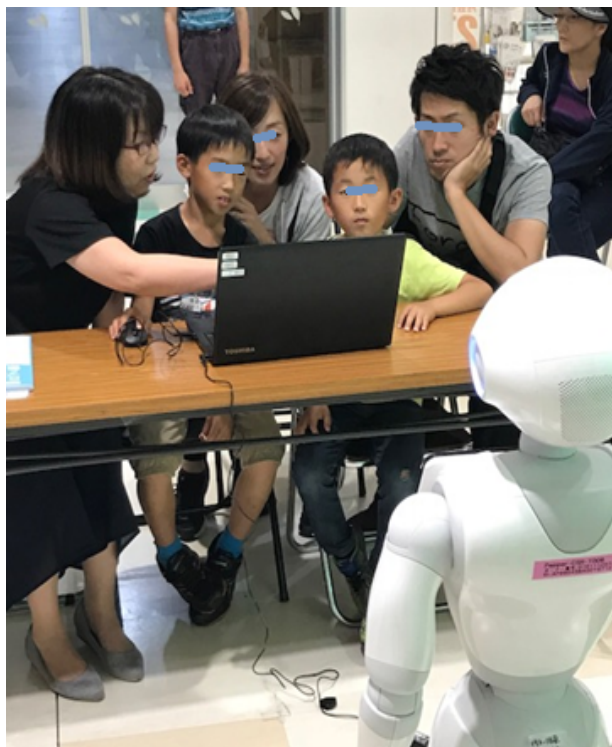
第1部：プログラミング授業編60分



ソフトバンク社員が講師となったプログラミング授業風景

イベントイメージ2

第2部：タッチ&トライ編120分



来場親子が代わる代わる10分程度のPepperプログラミングを体験
ソフトバンク社員が随時サポート

レシピ付き!



フレスタオリジナル 「クック・アイ」 調理キット

料理時間の
悩みを解消!



ぴったり材料で



かんたん調理♪



フレスタオリジナル 「調理キット」

Cook-i

家族の毎日に、小さな愛を

お母さんが残業の時も
 お父さんがお料理キットで晩ご飯のしたくまで。
 お母さんが帰ってきたら、家族みんなで夕食タイム。
 あったかいご飯があれば忙しくても
 家族の時間がつくれますね。

